

2008 年度

<p>科目名</p> <p>アンケート作成法</p>	<p>対象学科・学年 人間人社3回生</p>	<p>担当者</p> <p>向井 有理子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>目的にあった正しいアンケートの作成法</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>調査研究に用いるアンケートの作成の方法と研究の一連の過程を、簡単な体験を通して理解することが授業の目的である。研究に用いられるアンケートについて、項目の作成における注意点、回答方法の選定など考慮すべき点を概説する。その上で、受講生の問題意識からテーマを抽出し、試行的な調査研究を行うことで、項目の作成から分析までの過程を体験し、調査研究の方法についてより実践的な理解を目指す。</p>		
<p>評価方法</p> <p>平常点（出席など）とレポートによって評価を行う</p>		
<p>テキスト</p> <p>心理学マニュアル質問紙法</p>	<p>著者</p> <p>鎌原雅彦 他</p>	<p>出版社</p> <p>北大路書房</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 質問紙法（アンケート）による研究とは 2. 質問紙法① 研究テーマと研究法 3. 質問紙法② 調査対象の決定と抽出方法 4. 質問紙法③ 質問項目の作成と回答方法の選択 5. 質問紙法④ 調査の実施方法の決定 6. 質問紙法⑤ フェイスシートの作成と倫理的問題 7. 質問紙法を用いた研究例（社会調査、心理尺度の作成） 8. 質問紙法の体験① テーマの決定 9. 質問紙法の体験② 調査対象の決定と抽出 10. 質問紙法の体験③ 質問紙の作成 11. 質問紙法の体験④ 調査の実施 12. 質問紙法の体験⑤ 結果の分析と解釈 13. 調査結果のコーディング 14. 質的研究と量的研究 15. まとめ 		